

# 武蔵野市議会議員 島崎義司

## 武蔵野かわら版

☆島崎義司の市政レポート

平成17年 1月号

発行:武蔵野かわら版編集局 〒180-0022 武蔵野市境1-3-4-403 TEL&FAX:54-8180 E-mail:yoshiji@parkcity.ne.jp

◎毎日更新ホームページ <http://www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/>



### ☆ 新春にあたり皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

#### 武蔵野かわら版 目次

☆ごあいさつ	Page 1
☆第四期基本構想を審議 会派を代表して「賛成討論」	Page 1~2
☆平成16年度予算編成方針に 『代表質問』	Page 3
☆6月議会『一般質問』 図れ！公立学校の魅力アップ	Page 3
☆12月議会『一般質問』 教科書採択の方針を問う	Page 4
☆市政トピックス 武蔵境南口新公共施設計画案示される	Page 4
☆活動トピックス 新潟中越地震 義援金募金活動行なう	Page 4
☆島崎義司プロフィール	Page 4

旧年中は、格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、市議会議員2期目も折り返し地点が見え始め、議会内では、平成15年度の文教委員長を経て、現在、議会運営委員長という大役を務めさせて頂いております。

そのような中、昨年は、武蔵野市の予算編成方針に対する会派代表質問や予算特別委員会の委員、2度の一般質問などを行ない、また、武蔵野市政の今後10年の基本方針を決定する第四期基本構想・長期計画策定の年でもあったことから、市長案が上程された昨年9月の本会議で設置、11月に開催された基本構想審査特別委員会(9名)では、所属会派からの選出(3名)を受けて、この委員も務めるといふ、市政の短期・中期・長期的計画や課題に深く携わる貴重な機会を得ました。

これに先立ち、会派としても、広く市民を対象としたタウンミーティングや、各種市民団体からのヒアリング等を行なって各議会活動に繋げることを私から提案、一昨年から系統的に導入しましたが、自分としてもこれを最大限活用して議会活動に取り組んでまいりました。

今年も、真の市民の声を市政に反映できるよう、積極的に、まちに、人に、関わっていきたく思いますので、皆様におかれましても、ご意見・ご要望等がございましたら、是非ご一報頂ければと存じます。

武蔵野市議会議員 島崎義司

### ☆ 第四期基本構想を審議 会派を代表して「賛成討論」

基本構想は、地域における総合的・計画的な行政運営を図るため、地方自治法(第2条第4項)で自治体にその策定が義務付けられているもので、武蔵野市の第四基本構想・長期計画策定においては、市長が委嘱した市民委員6名を含む策定委員が、市政の膨大なデータを分析、現場の実態を調査し、各界各層にわたるヒアリング等を行なって市民意見を集約、あらゆる分野で議論がなされた上で原案を市長に提出、若干の字句修正が行なわれたあと市長案として昨年9月の議会に提出されるという流れで進められてきました。

11月5日から9日まで開かれた基本構想審査特別委員会では私も委員を務め、近未来の行政の進むべき方向性を行政側と徹底的に議論、これを議決する12月議会冒頭の本会議では、会派を代表して本構想への賛成討論も行いました。

議論の詳細については、私のホームページ等をご参照いただ

ければと存じますが、紙面の都合上、以下、私の議論の集約でもある討論のごく一部を要約して紹介し、審査のご報告に代えたいと思います。



#### ▽非婚・晩婚化 子ども減少 独居高齢者急増 少子超高齢化時代への対応は待ったなし！

今回の基本構想では、家族類型別世帯数の将来推計とともに人口構成問題が記述されました。

第三期基本構想策定当時(平成4年)と、本基本構想の目標最終年度(平成27年)との比較では、全人口に占め

る15歳以下の年少人口は30%減、生産年齢人口は11%減、一方、高齢者人口はなんと2.48倍の増加が予測され、人口構成問題は、家族形態のさらなる細分化傾向や、単身世帯の増加などとも相俟って、税金、財源配分に与える影響が大きく、今後の市政運営上、重要な課題となっていくことが改めて認識させ

られました。これに対し、基本構想では、高い武蔵野市の行政サービスの質を今後も落とさないよう、市が行なう事務・事業への、民間経営の視点及びその手法の導入、行政が行うべき仕事かどうかを判断する補完性の原則や経済合理性に基づく適正な受益者負担の検討など、自治体経営を抜本的に改革する決意が示されました。

### ▽介護給付費激増 改革が急務

武蔵野市では、過去3年間で、65歳以上の要介護認定者数は1.52倍(対象者数は1.08倍)、介護給付費は1.45倍に上りました。これは、保険料を支払った分に見合ったサービスの受給をという国民感情とともに、結果的に自立を妨げる過剰介護の問題もあります。長期計画の中で特に力点が置かれている介護予防と同時に、過剰介護抑制策の検討が必要です。介護保険制度改革への、政府や全国に対する土屋市長の考え方の発信を高く評価するものですが、長期的には、介護保険目的の消費税を創設し、市町村ごとに65歳以上の高齢者の数によって配分する。国が経営し、市町村が運営する方式。国が財源を保障し、給付は市町村の創意工夫を生かす自由度の高い制度が実現するよう、市長の一層の努力を求めます。

### ▽家庭保育拡充へ 家族を支援・再生する政策誘導を！

家族と子ども施策について、家庭の子育て機能の回復に取り組みることが示されました。昨今の殺伐とした世相や、生活の変化、厳しい経済状況などをふまえて、子どもにとって本当に何が必要なのかという観点を重視した、バランスのとれた子育て支援が求められています。安易な子育ての外注化には十分注意を払いつつ、財政的な観点からも、公の保育から民の保育へ、家庭で子育てしやすくする政策的誘導が必要です。その意味で、幼稚園を含めた民間子育て支援事業者や、子育てグループとの連携、支援の拡充の方向性が示されたことは高く評価できます。政策誘導という観点で、さらなる家庭保育支援の総合的研究・対策を求めます。

### ▽確かな学力 クラブ活動対策 公立学校の魅力アップへ

公立学校離れが叫ばれています。週五日制などもあって父兄が心配する最も大きな要因は学力への不安です。基本構想では、学力向上対策として、本市独自の定期的な学力調査の実施や、教育指導員派遣システム(仮称)の導入に取り組むことになりました。今後は、この調査結果等を活用して、個々の生徒の学力を把握し、問題点を改善するシステムづくりが必要です。また、クラブ活動支援についても、子どもの意向を尊重することが記述されましたが、さらに大事なことは、部活を見てくれる情熱ある先生の応援・発掘です。この課題も含め、さらなる総合的な対策の研究を求めます。

### ▽桜堤調理場老朽化進む 民間委託も視野に

桜堤調理場の老朽化が深刻とのこと。給食一食あたりの提供単価は1,100円以上、提供日数は190日以下、正規職員の1人当たりの年間平均人件費は1,000万円以上というこの事業については、民間事業者があまたある中で、公務員がやらなければならない理由はほとんどありません。このさい、事業の民営化に向けた具体的な検討に入るべきです。

### ▽中学校屋食対策拡充へ

中学校の屋食対応については、私たち(与党3会派提出)の要望

を受け入れて、未対応だった六中、二中、三中与順次すばやく対応していただいていることを高く評価します。今後は、斡旋する弁当の夏季の安全とともに栄養バランスにも配慮できるような、(昼食斡旋)システムの充実を求めます。

### ▽路線商店街加盟促進 条例化を視野に！

景気が低迷する中で、商店会への加盟をせずイベントにも協力しない、しかし商店会が努力してつくりあげた商環境には最大限の恩恵を受けているという店舗が極めて多く、商店街関係者からすれば納得しがたい問題があります。商店会側でも、未加盟店の未加入理由を調査し、加盟への働きかけも、開店祝いや粗品の進呈、大家さんに商店会への加入を出店の条件にしてもらうよう交渉に行くなどの努力をしているものの、加入促進はなかなか厳しい状況にあります。そのような中、都内では世田谷区の「産業振興基本条例」のような、商店会への加入を努力義務とする条例を制定して、自治体が強い姿勢で、未加盟店舗に対して商店会の活動に協力を求めるという動きが相次いであります。また、条例制定と商店会への協力を要請するチラシを、自治体が全事業所に発送することによって、すでに効果を挙げ始めているという報告もあります。条例化を視野に路線商店街活動支援の検討を求めます。

### ▽市民への安全情報提供システムの構築を！

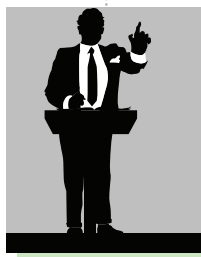
西庁舎に建設を予定している(仮称)防災センターについては、今年の私の代表質問での「テロや人為的災害への対応機能も付加すべし」という提言を受けて、名称も(仮称)防災・安全センターとし、その設置目的や意義がより明確にされました。安全対策について本市では大阪の池田小学校事件以来、ホワイトイーグルやブルーキャップ、そして最近では、より地域に細かい目を配るための市民安全パトロール隊の発足など、他自治体の模範ともなっていますが、今後は、市民への迅速な情報提供システムの確立が求められています。犯罪事件などは捜査上の秘密事項もあるかとは思いますが、いつ、どこで、何が起きたという、客観的事実をなるべく早く知ることは、自己防衛、子どもや家族を守るという意味からも重要なことです。早急に情報提供システムの構築を求めます。

### ▽IT化推進 市民・民間活力導入 選択的サービスの

#### 受益者負担見直し等でさらなる行財政改革を！

少子・超高齢化社会の進展、厳しい財政見通しの中で、本市の高い市民サービスをいかに維持していくのか、老朽化しつつある公共施設の更新をいかに図るのかなど、課題は山積しています。これに対し基本構想では、市民とのパートナーシップの推進、民間企業等のATMやインターネットなどを活用した行政サービスの拡大、選択的な行政サービスに対する受益者負担の見直し、公共施設の維持・更新計画の作成と維持費の縮減及び耐用年数の延伸、必ずしも行政が直接実施する必要のない業務の積極的な民間委託化、民間企業の経営手法の導入などで、高い市政レベルを保っていくことが示されました。より効率・効果的な市政運営、市民対応向上に向けて、さらなる改革、内部努力を期待し賛成討論とします。

※ なお、質疑や討論の詳細については、私のホームページ [www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/](http://www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/) でご覧頂ければ幸いです。



## ☆平成16年度予算編成方針に『代表質問』

平成16年度予算は、第三期基本構想・長期計画の目標最終年度にあたり、一昨年から進められていた第四期基本構想にもつながら重要なものと位置づけ、その編成方針を質しました。

### ▽防災センター 防犯対策の拠点機能付加を！

【島崎】建設を予定している(仮称)防災センターは、テロや人為的災害(防犯)に対応する機能も付加すべきと考えるが、見解を伺う。

【土屋市長】情報の収集・分析は大事。消防署や警察とのネットワーク機能を持てばテロなどにも十分役立つと考える。

### ▽路線商店街支援を！

【島崎】市内の中小零細企業や商店街を取り巻く現状は廃業、閉店、後継者難など、著しく悪化し、このままでは商店街が担ってきた治安、交通安全、防災などのコミュニティ機能は低下する一方である。市内商業に対する総合的な施策が必要と考えるが見解を伺う。

【土屋市長】路線商業の衰退には構造的な問題があり、この流れはなかなか変わらないと思うが、個々の店や商店街のネットワーク化、公的・生活サービスの要素を含めるなど総合的に商店街を活性化するしかない。支援策をよく研究したい。

### ▽低下する家族機能の再生に向けて

【島崎】子どもを取り巻く社会問題が深刻化している。この背景として、子どもを生み、育て、養育するという家族機能の低下を指摘したい。低年齢児童と親との間における家族機能について見解を伺う。



【土屋市長】家族機能の強化の必要性については同感である。家族の生き方について問題提起をしていきたい。

### ▽全児童的観点での公平・公正な子育て支援の推進を！

【島崎】子育て支援は、全児童的観点でサービスを考えるべき。保育園、幼稚園を含めた子育てで家庭に対する公費支出の格差をどう考えるか。

【土屋市長】公立の保育園・幼稚園ともに、適正な事業執行に要する経費を考える必要がある。

### ▽行政の役割改めて議論を！徹底した行革を！

【島崎】今年から新たに職員定数削減3カ年計画を策定し、嘱託職員、専門員、市民、NPOなどを活用していくことを高く評価するが、施政方針で紹介した埼玉県志木市が進める徹底した正規職員削減にならない、本市も、平均人件費約1,100万円(退職手当・共済費等含む)の正規職員が行う仕事について改めて議論すべき時期と考える。行革の今後についてどう考えるか。

【土屋市長】同じ地方自治に携わる者として、ああいっただ挑戦、問題提起は大いに検討しなければいけないと思っている。

※ このほか、防犯対策、地球温暖化防止対策における市民・事業者との連携、市立小・中学校の学力向上対策、教師の指導力強化対策、境幼稚園のあり方見直し問題、各駅勢圏ごとのまちづくり、旧・都立武蔵野青年の家跡地の整備、武蔵境北口地区へのムーバス路線開設のスケジュール、仮称・武蔵野三鷹地域センター等について、質問をしました。



## ☆6月議会『一般質問』 図れ！公立学校の魅力アップ

### ▽道徳教育 家庭と学校の連携を！

【島崎】長崎県佐世保市の小六女児同級生殺害事件は、仮想空間に彷徨う子どもたちの心や人間関係の変質を感じさせるものだった。小・中学校と家庭を結び道徳教育の副読本「心のノート」の活用方法を伺う。

【川邊教育長】生徒に課題を与え、親子の話し合いの手がかりとする等の工夫が必要と考える。今後、保護者や地域住民と教職員が話題にして話し合う活用のしかたが課題だ。

### ▽公立学校離れ 総合的な対策を！

【島崎】本市では、小学校で約13%、中学校で約35%の児童・生徒が市内の公立学校以外の学校を選択、公立学校離れが進んでいる。学校の魅力アップとPRへの取り組みを伺う。

【川邊教育長】学力の定着を含めたアクションプランを作成中である。検討委員会を設置し、PRのあり方の抜本的な検討を



始めている。

### ▽学力調査 有効な活用と教員の指導力向上を！

【島崎】本市独自で行なう学力調査を、生徒の学力向上や教員の指導力向上にどのように活用するのか。

【川邊教育長】学力調査は一人一人の学習の定着状況を各教科、観点にわたって細かく把握し、課題と改善点を明らかにしていく。それを手がかりに、授業・指導方法の改善をし、授業力を高める学校経営を進めたい。

### ▽境幼稚園見直し問題 慎重な議論を！

【島崎】境幼稚園について、廃園を含めた見直しの方針が示されているが、同園の教育の成果もふまえ、丁寧かつ慎重な対応が必要不可欠と考えるが見解を伺う。

【土屋市長】桜堤の公園住宅の行方や大規模なマンション開発による就学園児の見通しなど、不確定要素があり、これらの推移を見守りつつ慎重に判断したい。

### ☆12月議会『一般質問』教科書採択の方針を問う

▽青少年意識に変化！歴史教科書選定は公正な目で！

【島崎】(財)日本青少年研究所が行なった、日・米・中3カ国の高校生の意識調査では、日本の生徒は、自分に自信や誇りを持って、自己責任の意識が薄く、国や両親への愛情も低いという結果が出た。この要因には、戦後教育や教科書問題があると考えられる。学習指導要領では、国の歴史への愛情を深め、自由と権利、責任と義務の関係を広い視野から正しく認識できるように指導することを示している。来年度の本市での教科書採択では、この目標や観点をどう捉えて選定を進める方針か。また、前回のような、特定教科書に対する抗議や妨害運動に対し、教育委員が不安なく、公正な目で教科書を選定するための平穏で静謐な採択環境づくりをどのように図るのか、見解を伺う。

【山上教育長】学習指導要領に示された歴史・公民分野の目標・内容を踏まえ、教育委員会の方針及び市の学校や生徒の実態に即しているものを選定したい。審議に当たっては、公正で自由闊達な論議が保障され、どの過程においても、関係者への働き

かけや圧力で、採択の公正さが失われないよう努めたい。

▽学校でのプリントや試験問題の保管規定制定を！

【島崎】情報公開の開示請求では、授業で使用されたプリントや試験問題などを保管していない学校が複数あった。教室でどのような教育がなされているのかを検証できるように、学校で使った全ての文書は、一定期間保管する義務を課すべきだと考えるが、見解を伺う。

【山上教育長】市の管理運営規則には保管規定がないので、指摘の点は今後、検討課題としたい。



※このほか、教科書検定に則らないことから、科学的・実証的論拠に基づかない南京大虐殺や強制連行など、問題記述が散見される歴史教育の副教材について、各学校での選定基準を質しました。

### ☆市政トピックス 武蔵境南口新公共施設計画案示される

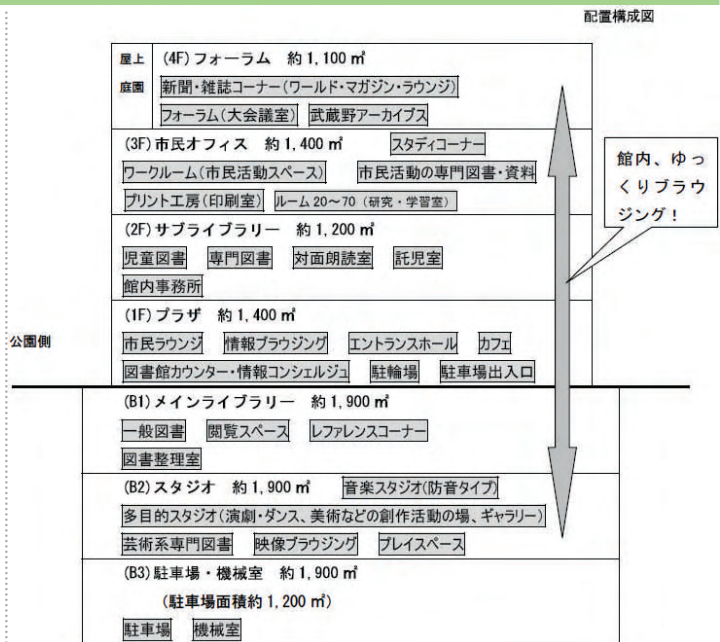
昨年12月16日(木)の市議会鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会において、同2月の設計者選考プロポーザルで最優秀賞となった川原田康子さんなど4人の市民を含めて5月に設置された「農水省跡地利用施設建設基本計画策定委員会」の『中間のまとめ』が、機能配置図(参考図)とともに示されました。

計画では、施設を知的創造拠点と位置づけて図書館機能を中心とし、「館内をゆっくりブラウジング」というもので、各フロアの機能にあわせた図書館スペースを配置し、フォーラム、スタジオ・ギャラリー、市民オフィスなどと有機的に連携できるようになっています。(右図参照)

建物は、駅前という立地を最大限活かしつつ、周囲を圧迫しないよう高さを抑えた、地上4階、地下3階、延べ床面積9600㎡としており、武蔵境の各種イベント等で、北側の公園と一体化した活用が期待されます。

今後の予定としては、平成17年度基本・実施設計、18年度工事着手、19年度工事完了、20年度開館をめざしています。

同施設が「武蔵境をゆっくりブラウジング」する新たな拠点となるよう、私も今後の議論に臨みたいと思います。



### ☆活動トピックス 新潟中越地震 義援金募金活動行なう

昨年10月23日(土)、新潟県中越地方で大地震が発生し、武蔵野市の友好都市である小国町も甚大な被害を受けました。これに対し武蔵野市では大規模災害被災地支援に関する条例を適用して対策本部を設置、他の姉妹友好都市とも連携して被災者救援活動に乗り出しました。そこで同26日、毎週行なっている早朝駅頭演説活動を、急遽、中越地震被災者義援金募金活動に切り替えて行ない、お預かりした募金73,945円は市の生活福祉課を通じて被災地へ送りました。



#### 《島崎義司のプロフィール》

- ◇昭和41年2月10日武蔵野市境生まれ。(38歳)
- ◇武蔵野市立二小、六中、拓大一高をへて拓殖大学商学部を卒業。
- ◇衆議院議員の秘書を9年間勤めた後、実家の食品会社に勤務しながら、(社)武蔵野青年会議所など地域活動に取組む。
- ◇平成11年4月市議会議員に初当選。現在、文教委員、議会運営委員会委員長、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員、湖南衛生組合議会議員(監査委員)などを勤める。(現在2期目)
- ◇家族は、妻、長女8才、長男5才

☆毎年恒例で2月初旬に開催していた「島崎義司の市政報告会」は、『新年会が重なる』『天候不安定で寒い』などのご意見を考慮し、今年からは3月~4月頃に開催したいと思います。